

高齢者の居場所

④

東京都内の住宅地。普通の民家に、介護が必要な7人の高齢者が暮らす。ここは行政への届け出をしていない、いわゆる「無届けホーム」だ。6畳の部屋に住む男性(85)は、ベッドでテレビを見ていた。6年ほど前に肺の病気で入院、退院時に病院の紹介で来た。

男性の要介護度は、最も軽い「要支援1」で、特別養護老人ホームへの入所申し込みはできない。年金額が少なく、費用がかかる施設も選択肢にはない。「家事もできないし、ここにいろしかないよ」

チューブで鼻から酸素を吸っているが、最近息苦しさが増まり、外出は難しい。

ホームには、建物を運営するNPO法人の職員が常駐し、住人の食事の準備や介助などを行う。ホームの利用料は月約15万円。

訪問介護や訪問入浴などは、ホームの事業者とは別の事業所と契約して利用する。介護保険の1割負担はそれぞれの業者に払う必要がある。

高齢者を住ませ、食事などのサービスを提供する施設は、老人福祉法上の有料老人ホームに当たる。その場合、都道府県への届け出が必要

「無届けホーム」最後の受け皿

だ。しかし、居室面積など自治体が定める指針の基準を満たさず、改善を求められることを嫌って届け出ない施設が多い。このホームも、住宅型有料老人ホームに該当するが、届け出はしていない。

ホームを運営するNPO法人代表の宇井米司さんは言う。「うちは、行き場のない人を受け入れていただけ。届け出をしていないのは、基準を満たすにお金がかかり、利用料が上がるから。皆、お金で困っているのにとっすらんですか」

厚生労働省の2014年10月時点の調査では、こうした「無届けホーム」は全国で961か所になる。厚労省は今年3月、届け出の促進強化を、都道府県などに要請した。

届け出がないと、行政の目が届きにくい。大阪市は13年、同市内の高齢者向けマンションに、高齢

行政のチェック甘くなる恐れ

者虐待防止法に基づく立ち入り調査を実施。入居者の一部に床ずれが見られたことなどから、介護放棄(ネグレクト)があったと判断した。

同マンションは、医療と介護サービスが利用できるとうたっていた。大阪府の条例では、このマンションのような施設は有料老人ホームとしての届け出は必要なく、市は強制力のある改善命令などの処分は行えなかった。市の担当者には「任意で改善を求めるしかない」と話す。

住宅型有料老人ホーム介
護職員が常駐しておらず、
介護サービスは、外部の介護
事業所と契約して利用する
の有料老人ホーム。企業が運
営していることが多い。

入居者の男性と話す宇井さん(左)。「昔は子どもが親の面倒を見ていた。子に代わってお世話しているだけ」と言う(東京都内で)



このマンションを巡っては元入居者(94)から、介護放棄があったなどとして運営会社などに対する損害賠償訴訟が起きている。元入居者の次男(65)は「役所に紹介されて入居したので安心感があった」と悔やむ。マンション側は「必要なケアは行っており、虐待はなかった」としている。高齢者住宅財団理事長の高橋紘士さんは「無届けホームは、行政のチェックが働きにくい。もし入居するならば、より慎重に確認するべきだ」と指摘。「自治体は、無届けホームの実態をきちんと調べ、質を上げて行くべきだ。行き場のない高齢者をどこでどうみるのか、行政も医療機関も介護関係者も、一緒に考えていかなければならない」と話している。(おわり)

(針原陽子、中領聡子)

中学2年生の女子。水泳部に入っていますが、運動神経が悪く、自分の中で限界を感じています。

運動会ではいつもビリで、側転や跳び箱も怖くてできないくらい運動が苦手です。ボールも上手に投げられませんが、そんな私ですが、中学校では日頃の運動不足解消に楽しく取り組みたいと考え、唯一、人並みのできる水泳部に入りました。

しかし、やはり部員の中で一番遅く、記録会で恥をかいています。コーチからは能力以上の泳力を求めら

運動神経悪く部活動に限界

2年生になり、後輩が入ってきました。今までのように「1年生だから」と大目に見てもらわけるにはいきません。練習も厳しくなるでしょう。そう思うと気が重たいし、夏が来るのが怖いです。どんなモチベーションで部活を続けていけばよいでしょうか。(神奈川・W子)

人生案内

増田 明美

(スポーツ解説者)

運動神経がよくないと自覚しながらも水泳部に入り、恥をかいたり限界を感じ、成長を